

一宮高 科学の甲子園へ 県最終予選

自作のソーラーカーを走らせる生徒
＝東郷町の県総合教育センターで



この記事・写真等は中日新聞社の承諾を得て転載しています。

場権を獲得した。
この日は、各校の八人で構成するチームが、化学と生物の実験競技のほか、決まった材料でソーラーカーを製作し、走行時間や距離を競った。
ソーラーカーでは、

ソーラーパネルやモーターを厚紙や竹ひご、輪ゴムも使って組み立てた上で、工夫した点

などを発表。五ヶコースでの試走では、チークによってはモーターが動かなくなるトラブル

ルもあったが、生徒らは素早く対応してい

た。三位は岡崎高、二位は刈谷高。全国大会は三月二十一日から兵庫県内で開かれる。（並木智子）

高校生が科学の知識や技能を競う「科学の甲子園全国大会」の県代表チームを決める最終予選が二十五日、東郷町の県総合教育センターが全国大会への出